



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol.301

2022/5/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

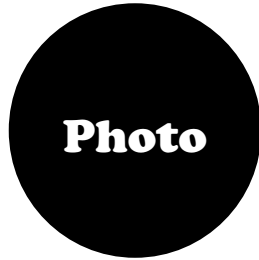
GREEN COLUMN

01. 草花に囲まれて

02. 展示のひと工夫



今月の一枚



「上を見たり下を見たり」

表紙写真・文／城坂結実

エゾヤマザクラが咲き始めると、途端に景色が華やかになります。美幌町の市街地付近にある「せせらぎ公園」には、遊歩道沿いにエゾヤマザクラと低木のエゾムラサキツツジが植えられているので、華やかさも一塩です。

などと、つついサクラとツツジに目を奪われがちですが、足元にはスミレの仲間や、ヒメオドリコソウなど、可憐で愛らしい花々も咲いています。春の散歩は、上を見たり下を見たり、大忙しです。

Event. 今月のイベント

特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」～10月23日(日)

こどもの日無料開館 5月5日(木)

プチ工房「寄せ木の一輪挿し」5月20日(金),21日(土)

博物館講座(歴史編)「歩いて発見!ぶら博物館 古梅編」5月28日(土)

Information. 参加者募集

こどもの日 無料開館

●5/5(木)9:30-17:00(入館は16:30まで) ●美幌博物館 ●参加費 無料,マスク ●なし ●申し込み不要。

こどもの日 工作「鯉のぼりを作ろう」

●5/5(木)①10:00開始,②11:00開始,③14:00開始,④15:00開始,作品ができ次第終了 ●美幌博物館1階 講座室と修理室 ●参加費 無料,マスク ●美幌博物館職員 ●美幌博物館へ電話申込み(-5/4)。各回定員20名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

プチ工房「寄せ木の一輪挿し」

●5/20(金),21(土)①10:00開始,②11:00開始,③14:00開始,④15:00開始,所要時間40分~,作品ができ次第終了 ●美幌博物館1階 講座室 ●参加費 300円,マスク ●城坂結実(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(-5/19)。各回定員12名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

プチ工房「キャンドルホルダー」

●6/3(金),4(土)①10:00開始,②13:00開始,③14:30開始,所要時間45分~,作品ができ次第終了 ●美幌博物館1階 講座室 ●参加費 500円,マスク ●町田善康(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(-6/2)。各回定員12名で締切。小学3年生以下は保護者の同伴が必要。定員に達しない場合は当日参加も可能です。

博物館講座(歴史編)「歩いて発見!ぶら博物館 古梅編」

●5/28(土)9:30-12:00 ●美幌町古梅地区(集合解散は美幌博物館) ●100円,野外で活動できる服装,雨天時は長靴,雨具,虫よけ,マスク ●八重柏 誠(美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み(-5/19)。キャンセルは5/25まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要,定員25名で締切。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため,発熱がある,あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは,内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により,一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上,ご参加ください。

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用,持ち物 ●講師 ●申し込み方法

今月の休館日

● ●
2日, 6日
9日, 16日
23日, 30日

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

草花に 囲まれて

写真・文／城坂結実



特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」が、3月26日（土）より始まりました。写真や標本はもちろん、植物画まで、草花のアレコレをちりばめた”図鑑”のような展示です。美幌町の4つの公園で見られる約150種を紹介しており、展示室に一步足を踏み入ると、四方八方が草花。まさに、草花に囲まれる特別展です。特に、美幌町をはじめ、北見市や網走市で活動されている植物画同好会のみなさんが描いてくださった植物画は、展示室に花を添えてくれています。

ボタニカル・アートと呼ばれることもある植物画は、植物を詳細に記録する植物の細密画です。そのため、①実物大に描く、②背景を描かない、③人工物は描かない、などのルールもあります。このようなルールに則って緻密ちみつに描かれる植物画は、写真のない時代に重宝されたのはもちろんのこと、現

在でも、写真よりも植物の情報を伝えてくれることもしばしば。特別展で展示されている植物画からは、草花の新たな一面を発見できること、間違いなし！です。

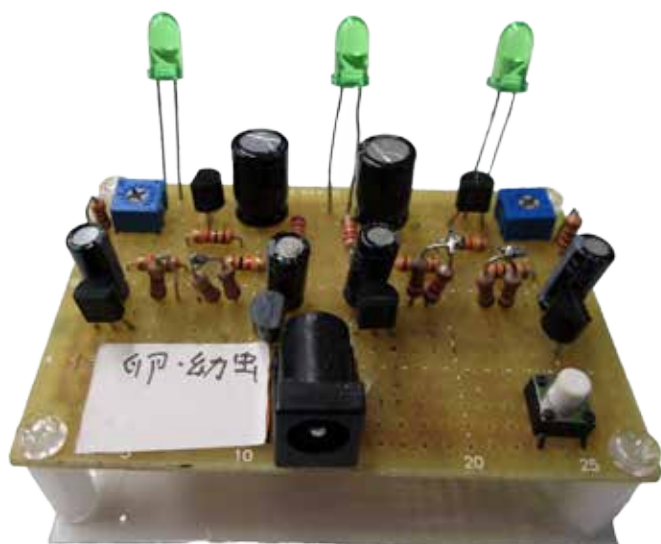
来年のことを言えば鬼が笑う、といえますので、鬼の大爆笑を期待した情報の一つ。2023年のNHK朝の連続テレビ小説のモデルは、日本の植物学の父ともいわれる、牧野富太郎まきのとみたらうです。牧野富太郎は、多くの植物の新種を発見して名前をつけたのと同時に、94歳で亡くなるまでにたくさんの植物画を描きました。牧野富太郎の著書を開くと、素晴らしい植物画を見ることができます。

特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」の会期は10月23日（日）まで。お越しいただいたみなさんに、草花との新しい出会いがありますように。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

展示の ひと工夫

写真・文／鬼丸和幸



展示活動を通して、身近な自然や歴史、芸術に触れる…博物館ならではの活動の1つと言えます。美幌博物館でも、各学芸員がそれぞれの専門分野に応じて、アイデアを凝らした展示活動を行っています。

第2展示室の一角には、「ホタル」をテーマにした展示コーナーを設けています。できるだけ身近に、かつ新しい情報を交えながら、自然・人文の両面からホタルの生きざまを知ってもらおうと思い、標本、解説パネル、模型などを使いながら展示しています。

先日、「電子工作したホタルキットがあるので、展示で使えないかな？」と、電気工作が得意な博物館学芸協力員のKさんより連絡がありました。今回、Kさんが制作したのは「ヘイケボタルの卵・幼虫・成虫の発光パターンキット」。ボタンを押すと、ホタルの発光パターンの違いが、それぞれ点

滅表示され、その違いが楽しく見てわかるというものです。ホタルが発光する点滅パターンを、電子基板回路を組んで発光させることで、本物どおりに再現されています。ある決められた点滅パターンを、電子基板回路を組み立てて忠実に再現する作業は、経験がないと至難の業だと言えます。その道に長けた協力員さんの技術協力があったからこそ、制作可能となった模型だと言えます。

今度、博物館の展示物をご覧いただく際には、「どんな材料で、どうやって作ったのかな？」などと、想像しながらご覧いただくと、面白い発見があるかもしれません。そのうち、今回のホタルキットが第2展示室にお目見えますので、ご観覧いただければと思います。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



ガラケーに別れを告げ、デジタル脳を目指し、スマホに変えました。アナログ脳が災いして、ライン機能設定で、どう間違えたのか、電話帳名簿全ての方に、つながり配信されてしまいました。“写真無し・和幸”を受け取られた方、大変ご迷惑おかけしました。(≧◇≦) (鬼丸)